

## トレーナーについて

### 1 目的等

- ・本楽団のさらなる演奏技術向上のため、必要に応じてトレーナーを招聘できることとする。
- ・トレーナーとして招聘するのは、楽団外の音楽に関する専門的知見を有する者とする。
- ・トレーナーに対しては、必要に応じて予算の範囲内で経費を支出する。

### 2 トレーナーの業務

- ・練習指導

団長の管理の下、常任指揮者及びコンサートマスターと連携し、効率的かつ効果的に練習を実施する等、本楽団の演奏技術の向上に努める。

### 3 招聘の根拠

- ・規約施行細則第11条を次のように改正し、招聘の根拠とする。併せて同条の解釈・運用も次のように改正する。

#### <規約施行細則改正案>

(客演指揮者等)

第11条 団長は、演奏会の指揮及び練習の指導を常任指揮者以外の者に依頼することができる。

#### <解釈・運用改正案>

本楽団の演奏会の指揮や練習の指導を常任指揮者以外の指揮者や指導者に依頼できるよう根拠規定を置くものです。

なお、ソリストについては、選曲により当然招聘しなければならないことが自明であるため、選曲の一部と考えることとし、招聘に関する規定は特に設けないこととします。

演奏会等における指揮者の候補は選曲委員会で選定され、役員会で決定されます。

### 4 候補者

- ・候補者は現段階で定めず、必要な都度、適切な者をトレーナーとして招聘する。

### 5 招聘に係る経費

- ・2023年度予算に計上し、予算の範囲内で招聘する。

### 6 その他

- ・トレーナーについて疑義が生じたときは、役員会で協議の上、対応する。